



フィリピンの言葉や生活について説明する留学生

浅野小学校に留学生が訪問 フィリピンから看護学生の2人が交流

フィリピンの看護学生で、4月から舞鶴日星高等学校に短期留学中のジェイムさんとミヤ・ロゼリンさんの2人が5月7日、浅野小学校を訪れました。これは、同校と以前から交流しているフィリピンのカパルヤン小学校との縁から、昨年より留学生が訪問しているものです。交流会では、2人がフィリピンの地理や宗教・生活について説明。続いて、児童たちからも、日本の印象は？「好きな食べ物は何？」など活発な質問をしました。

交流を通じて、お互いの国の文化や生活について理解し、親睦を深めたこの日の訪問でした。

まちの話題

豊作の願いを込めて

中村区で赤米お田植え祭り

取り組みを始めて17年目を迎える小佐の赤米づくり。5月30日、中村区の赤米田で「赤米お田植え祭り（主催／中村区）」が行われ、実習で訪れた但馬農業高等学校生徒、また「尼崎市おとなエコクラブ」「ブナを植える会（神戸市）」のメンバーなど京阪神からの参加者を合わせ、約250人が参加しました。

豊作を祈願する神事が行われた後、参加者は「足で踏んだ所は土をならしてから植えてください」と田植えの指導を受け、いよいよ水田に入り田植えを体験。約20センチに伸びた苗を、豊作を願いながら心を込めて植えました。



地元の人に教わりながら赤米の田植え

また、サツマイモの苗も植え付けられ、10月中旬には赤米と合わせて収穫祭が行われます。

ダンスやじゃんけんで楽しく

八鹿地域5歳児交流会

5月18日、八鹿地域の幼稚園と保育園の5歳児（参加109名）が全天候型運動場に集まって交流会を行いました。

この交流会は、グラウンドでの遊びを通じて、地域の5歳児が交流を深めることを目的に、毎年5月と10月に行われているものです。

開会にあたり高柳幼稚園の中村園長が「今日は、広いドームの中で仲良く楽しく過ごしてください」とあいさつをすると、子どもたちは大きな声で「はい」と返事。

交流会ではフォークダンスやじゃんけんゲームなどを楽しみ、笑顔のあふれる交流会となりました。



みんな仲良く楽しく過ごせました